

(2) 防災訓練について

【1】令和4年度犬山市総合防災訓練の計画案について

日 時

令和4年9月11日（日） 午前中

開催場所

楽田小学校（犬山市城山97）

対 象

- ・ 楽田小学校区住民
- ・ 楽田小学校生

内 容（予定）

- ① 自主防災組織の活性化
- ② 避難所運営委員会の設置の足がかりとなる取り組み
- ③ 防災知識の啓発

※楽田コミュニティを中心とした避難所運営訓練。令和2年度に新設された体育館施設のお披露目も兼ね、地域住民とともに訓練を実施します。

※令和2年及び令和3年においては、新型コロナウイルスの影響で縮小して訓練を実施。

方針・目的

- 災害時におけるコミュニティ及び自主防災組織の役割を再確認することで、それぞれの組織の活性化を図る。
- 学校区を対象とした事業実施により地域を越えた防災活動の定着を目指す。
- 各企業・団体の協力による啓発ブースの出展で、防災に関する普及啓発を行う。

【2】土砂災害に強い地域づくり活動の計画案について

日 時

令和4年6月12日（日） 午前中

対象地区

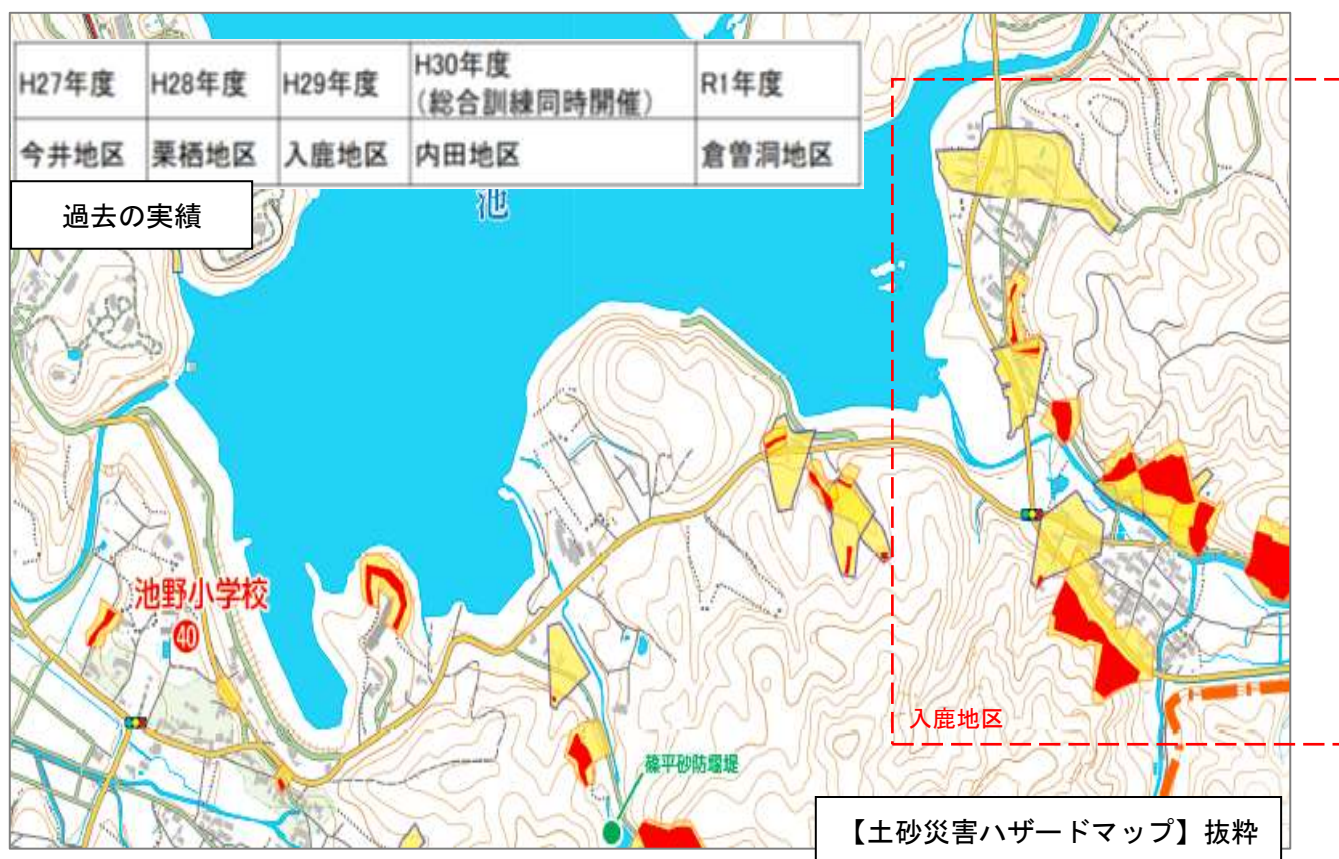
入鹿地区

訓練内容

緊急避難を想定した避難訓練

方針・概要

入鹿地区においては、土砂災害に対して安全な施設（池野小学校）までの避難が困難であるため、今回の訓練では対象地区住民一人ひとりの避難先及び避難方法を再確認し、緊急時の「いのちを守る行動」につながる適切な避難行動の普及啓発を行うことを目的とする。



※令和3年度に実施予定だった訓練を、次年度に繰り越しするもの。

【3】令和3年度『避難行動要支援者避難訓練』の結果報告

日 時

令和3年9月21日（日） 10:00～12:00

開催場所

犬山南小学校（大字橋爪字末友28） 体育館

対 象

参加者：避難行動要支援者及び支援者

観覧者：町会長、民生委員、犬山市議会議員 外

テーマ・内容

◆避難行動要支援者避難訓練

- 避難行動要支援者支援制度の登録者を対象とし、それぞれが策定している個別避難支援計画に沿った避難行動を実施。
- 実践的な訓練を実施することで、課題の洗い出しを行い、実災害時への備えとする。
- 町会長や民生委員に訓練の様子をご観覧いただき、要支援者の避難行動における実情を把握してもらう。

参加人数

87名

参加者 10名（要支援者5名、支援者5名）

観覧者 52名（町会長、民生委員、市議会議員、防災会議委員、その他）

市役所 25名

成 果

訓練参加者からは、「市の取組みが知れてよかった」「実際の避難所の様子がわかった」などのご意見をいただきました。

大規模災害時は、行政が市民一人ひとり個別に対応することが困難なことから、避難に時間を要する方や、一人での避難が難しい方は、近隣や町内会など、「地域のつながり」が非常に重要になることを呼びかけることで、事前準備の一環として意識付けることができました。

